



学校だより

11月号(第527号)

令和元年10月31日

横浜市立すみれが丘小学校

学校教育目標

〈すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって かがやきつづける すみれっ子〉
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

みんなで声を掛け合い、心をひとつに自分たちでつくり上げた運動会

校長 吉田 茂樹

10月20日(日)は、爽やかな秋晴れの下、無事に運動会を実施することができました。雨天のため1日延期しての実施でしたが、子どもたちは、前日にしっかり休養でき、本番で最後まで力を出し切ることができました。



初めての運動会(1年生)

今年の運動会スローガンは、「最大の力を発揮しろ！心をひとつに367人」でした。9月の児童代表委員会で原案をもとに話し合いが行われ、子どもたちの考えで決定しました。子どもたちの意見交換の中で「ソフトで優しい語尾にしなかったのはなぜか」という問いに「だれかに命令されているわけではなく、自分たちでつくった目標だから」という答えが印象的でした。今年の運動会は、まさにこの答えの通りに最上級生の6年生がリーダーとなって応援に、演技・競技に、係の仕事に声を出し合って下級生を引っ張り、運動会を自分たちでつくり上げていました。その思いが、赤組・白組の各チームに伝わったのか稀にみる大接戦となりました。結果は、836対830の僅か6点差で赤組の優勝となりましたが、準優勝の白組の健闘も大いに褒めたたえられるものでした。演技でも初めての運動会となる1年生は、力いっぱい自分を表現し、楽しく踊っていました。最後の運動会となる6年生は、みんなの思いをひとつに魂のこもったソーランを披露しました。その勇姿は、語り継がれ、きっと下級生に引き継がれていくことでしょう。他の学年も「心をひとつにして」と声を掛け合っている場面を見て、子どもたちの成長を嬉しく思いました。

ラグビーの言葉「ノーサイド」にあるように、互いに切磋琢磨するからこそ高め合うことができ、終われば、みんな大切な仲間です。みんなで心をひとつにして、運動会で得た力を次の目標に向かって発揮してほしいと思います。

最後になりますが、ご来賓・保護者・地域の皆様には、子どもたちへの熱いご声援とともに温かく見守っていただきまして、誠にありがとうございました。また、PTAの皆様には、朝早くから運動会のお手伝いをありがとうございました。そして、運動会後の後片付けでは、おやじの会、おかんの会をはじめ、多くの保護者の方にご協力をいただきました。担任が児童の下校指導をしている間に、テントやサッカーゴール、入退場門、表示札、テーブル、椅子など、次々と片付けていただき、本当に助かりました。教職員一同、心よりお礼申し上げます。